

# 多彩なプロジェクトによって「京大力」を未来へ 支援者の皆様の期待に応えつつ、基金の有効活用と拡充を図る

## 京都大学基金へのご支援

京都大学は研究大学としての使命を果たすべく、教育・研究の振興や学生支援に力を入れてきました。そのための支援の基盤として、2007年3月に「京都大学基金」を設立しました。現在、京都大学基金は、本学全体の教育研究・社会貢献のために活用する基金と、世界中から期待されているiPS細胞研究のさらなる発展のための「iPS細胞研究基金」や、若手研究者の後押しをする「本庶佑有志基金」、経済的困難を抱える学生を支援する「修学支援基金」など、特定のプロジェクトを支援するための基金(特定基金)から構成されています。同基金は設置以来、数多くの方よりご支援をいただいております。2024年度末現在、基金(特定基金含む)の受入残高は約603億円に達しています。この活用実績については「京都大学基金」のウェブサイトにおいて広く公開しています。今後も積極的な寄付募集活動に努めながら、産業界と学術界が相互に連携・協力し、多面的な課題の解決に挑戦する人材育成基金や、地球社会の調和ある共存に貢献するためのSDGs課題解決基金など、本学の卓越した知を活用した多様なプロジェクトを展開していきます。

京都大学基金のウェブサイト <https://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

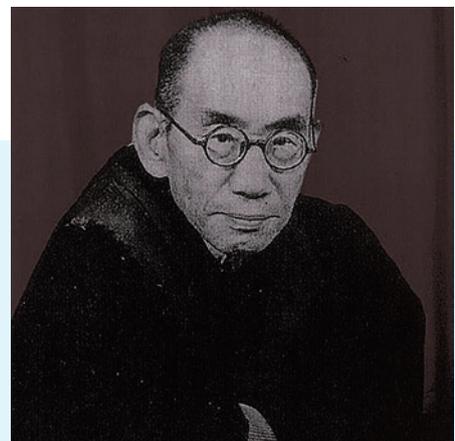


## 京都学派の研究を支援する「西田哲学一千本基金」を創設

卒業生で「連続起業家」の千本倅生氏から本学に3億円のご寄付があり、哲学者・西田幾多郎と西田の思想を基盤として生まれた「京都学派」の研究を支援するため、2024年6月26日に「西田哲学一千本基金」を創設しました。また同日、京都大学下鴨休影荘(湯川秀樹博士旧宅)にて記者発表を行いました。京都大学発の学問分野の一つである京都学派や西田哲学をはじめとした日本の独創的な哲学を研究する文学研究科日本哲学史専修は、日本哲学の研究拠点として世界からも注目されています。しかし現在、この伝統ある学術分野は継承が十分とは言えない状況となっているため、本学では本寄付を原資に独自の基金を創設し、今後10年間、次世代の研究者の育成や、史料の整備等に活用します。



左から、湊総長、千本氏、上原麻有子 文学研究科教授



西田幾多郎  
画像出典:上田閑照『上田閑照集一第一巻』岩波書店

## 同窓会との積極的な連携

本学では、学部・研究科同窓会や地域同窓会、横断型同窓会など、各種同窓会組織との連携強化に取り組んでいます。京都大学このえ会は、社会で活躍している本学出身の女性が相互の関係を深めながら、ネットワークを新たに構築するとともに、京都大学の女子学生や女性研究者等へ緩やかな支援を行うことを目的として設立され、本学女子学生向けのイベントなどを企画しています。その他、本学では、同窓会の開催支援や毎年11月のホームカミングデイの開催などの活動を行っています。



京都大学奈良県同窓会 令和6年度定時総会(2024年6月30日)



東南アジアネットワークフォーラム(タイ) (2024年12月17日)

## 第19回京都大学ホームカミングデイ

第19回京都大学ホームカミングデイを2024年11月2日(土)に開催しました。あいにくの雨天となりましたが、同窓生、教職員、学生、一般の方々など延べ4,304名が参加しました。また、当日の様子は動画で配信し、過去のアーカイブもオンラインで公開しました。

当日は、湊長博総長の挨拶に続き、本学卒業生でVOCALOIDの開発者として知られる剣持秀紀氏による講演を行い、その後の音楽会では、交響楽団、グリークラブ、京大合唱団・同窓会合唱団が出演しました。そのほか、資産活用セミナーや研究者と直接対話できる「京都大学アカデミックデイ」、同窓生による書道・写真などの展示、総合博物館などの施設見学、スタンプラリーなど、多彩な企画を実施しました。特に「くすのき逸品マルシェ」では、農学研究科附属の農場・牧場や本学にゆかりのある企業など15店舗が出店し、来場者でにぎわいました。



剣持秀紀氏の講演



グリークラブの合唱

**京都大学同窓生向けオンラインサービス「KUON」** 京都大学KUONのウェブサイト <https://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/static/>

卒業後も京都大学を身近に感じてほしい、という思いから誕生したオンラインネットワーク。登録者限定の優待特典、同窓生インタビューの配信、生涯メールアドレスなどのサービスを提供するほか、京大の「知」を還元するワークショップなども行っています。

